



## 一橋大学ダイバーシティ・エキティ&インクルージョン推進宣言を发出了しました

一橋大学は、創立以来、社会の構築に広く貢献するリーダーの育成をミッションとし、社会科学の総合大学として、日本及び世界における政治経済社会の発展とその創造的推進者の育成に貢献してきました。また、豊かな教養と市民的公共性を備えた人々を世界に送り出すことを目指し、ひとりひとりの学生を丁寧に育て、自由で独創的な研究を生み出してきました。

グローバル化が進む現代社会において、政治経済社会の発展を構想し、革新し、指導していく人材を育成する場では、すべての構成員が互いの違いを尊重し合い、それぞれの能力を最大限に発揮できるように教育研究環境を整えることがきわめて重要です。

包容力に富む卓越した学術コミュニティとして自らを鍛え直し、地球社会の課題解決に取り組む個性と魅力あふれる大学を目指して、一橋大学は、ここに、多様性 (Diversity)、公正性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) を積極的に推進していくことを、学内外に向けて宣言します。

すべての学生・教職員が、人種、民族、国籍、性別、性自認、性的指向、障がい・疾病の有無、年齢、言語、宗教、信条、出身、地位、家族関係など、さまざまな属性において多様性を持つことを認識し、その尊厳が守られ、公正に包摂されることによって、本学の一員としての帰属感や矜持を持ちうる組織となるよう、取組をすすめます。

### (基本方針)

#### 1 多様性 (Diversity) の尊重

一橋大学は、すべての構成員の多様性を尊重します。多様な構成員が集うひらかれた学術コミュニティとして、就学・学生生活・研究・教育・採用・昇進その他の学内のあらゆる場面において、すべての構成員の人権が守られ、対等の人格としてあつかわれることを保障するため、常に学内体制を見直し、必要となる諸施策を推進します。

#### 2 公正性 (Equity) の確保

一橋大学は、差別的な社会構造の是正に取り組み、すべての構成員がそれぞれの能力を最大限に発揮できる公正性が保障された学術コミュニティづくりにつとめます。人種、民族、国籍、性別、性自認、性的指向、障がい・疾病の有無、年齢、言語、宗教、信条、出身、地位、家族関係などの事由により、就学・学生生活・研究・教育・採用・昇進その他の学内のあらゆる場面においてすべての構成員が差別されることのないよう、制度及び学内体制を整備します。

#### 3 包摂性 (Inclusion) の実現

一橋大学は、さまざまな属性や背景をもつ学生・教職員を包摂し、お互いその違いを尊重し合い、活躍できる学術コミュニティの実現を目指します。一橋大学に集うすべての人々が、学内のあらゆる場面において、心身共に快適に活動することができるよう、教育・研究の機会を保障し、啓発を推進します。

2023年3月29日

一橋大学

# TOPICS

## ■ ダイバーシティ推進協力員制度 を新設

令和5年5月、本学はダイバーシティ推進室の業務遂行について必要な助言を得るため、ダイバーシティ関連施策に識見を有する教職員からなる「ダイバーシティ推進協力員制度」を新設しました。また同月には第1回、9月には第2回の協力員会議がダイバーシティ推進室にて開催され、ジェンダー、外国人教職員・学生への対応、育児介護支援等の領域において、現在本学が抱える課題点について、活発な意見が交わされました。

令和5年度 ダイバーシティ推進協力員

長塚真琴 法学研究科 教授、Middleton John 法学研究科 教授、太田美幸 社会学研究科 教授、貴堂嘉之 社会学研究科 教授、太田陽子 国際教育交流センター 教授

## ■ 全国ダイバーシティネットワーク（OPENeD）へ参画

令和5年11月、全国ダイバーシティネットワーク組織より本学に「全国ダイバーシティネットワーク認定証」が交付されました。この認定証は、全国ダイバーシティネットワークに参画している全ての機関を、女性研究者活躍促進に向けた環境整備等に取り組む機関として認定するものであり、総括責任者である西尾章治郎大阪大学総長から交付されました。（写真右下）

## ■ 令和5年度 研究支援員制度 のべ19名が利用

本学では、出産・育児・介護等により十分な研究時間を確保できない研究者等を支援するため『研究支援員』を配置する制度を実施しています。本制度は平成26年度に開始され、これまで延べ146人が利用しました。利用者は研究内容に合った研究支援員(大学院生等)を自身で選ぶことができます。令和5年度は前期(4月～9月)11名、後期(10月～3月)8名の応募があり、ダイバーシティ推進本部会議による審議の結果、全員の利用が決定しました。また同年度より研究支援員に学部生も雇用可能とし、より広い選択肢の中から研究支援員を選出できるようになりました。



# EVENT

## ■ 情報交換会(グループ・メンタリング)およびフリーサロンを実施

本学では、小規模かつフランクな雰囲気の中でのグループ・メンタリング「情報交換会」を、ダイバーシティ推進室において企画・開催しております。また、資料の閲覧等、自由に当室でお過ごしいただける「フリーサロン」(推進室開放日)も実施しています。※フリーサロンはメンタリングはありません。

令和5年度情報交換会は「はじめまして！のフリートーク」(4月・メンター 長塚真琴教授)、「家族と離れて暮らすことで見えてくるもの」(6月・メンター 佐治早紀講師)、「会社員から海外大学講師へ～臨月の大学院生の10年後～」(11月・メンター 長塚真琴教授・ゲスト カンボジアメコン大学大矢千穂子講師)、「この春一橋からはばたくみなさんへ」(3月・メンター 長塚真琴教授)の全4回、フリーサロンは全10回開催し、多くの学生・教職員の交流の場となりました。



## ベビー休憩室

ダイバーシティ推進室では、おむつ交換台、授乳室、ベビーチェア、ポット(70℃設定可)、冷蔵庫、電子レンジ、クッションマット、絵本などをご用意育児中の皆様の支援を行っています。研究と育児の両立にぜひお役にた下さい。



国立大学法人 一橋大学  
ダイバーシティ推進室  
Hitotsubashi University Diversity Promotion Office  
国立東キャンパス 東プラザ1階  
平日 9:30～16:30  
Tel : 042-580-8730  
Email : gen-fr.g@ad.hit-u.ac.jp  
<http://www.sankaku.ad.hit-u.ac.jp/>

